

国内メディア・コンテンツ市場の規模（2014年度：単位億円）と推移

メディア・コンテンツの市場を「メディアを通じ販売や広告など対価を得て流通する情報」の市場と定義し、2014年の日本国内市場規模を集計したところ12兆3,338億円となった。前年比3,753億円増=3.1%プラスで、三年連続で増加、スマホや向けアプリやオンライン分野の台頭による流通市場構成の変化が顕著になった。

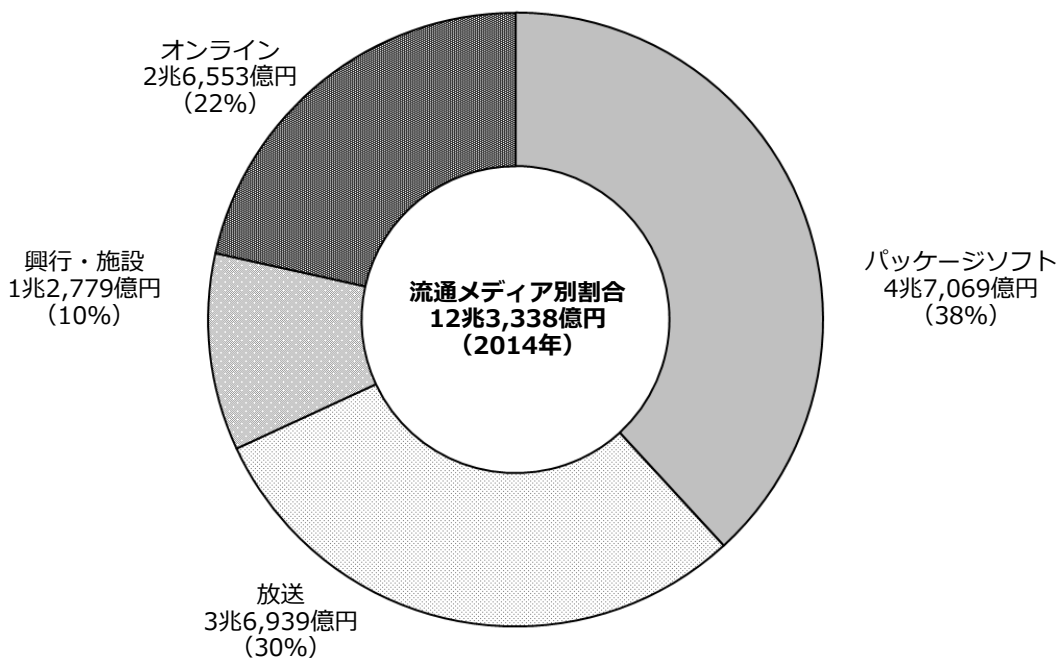
コンテンツの流通はメディア別に、4分野に分類され、パッケージソフトは引き続き減少が続いているが、放送と興行は横ばいとなった。オンラインはスマホ向けアプリゲーム売上増などで前年以上の大幅比で拡大を遂げた。そのシェアと推移は下記のとおり。

映像ソフト・音楽ソフト・ゲームソフト・新聞・図書など
パッケージソフト 4兆7,069億円（38%）、前年比1,820億円減=3.4%マイナス

テレビ・ラジオなど
放送 3兆6,405億円（30%）、533億円増=1.5%プラス

映画館・カラオケ・ゲームセンターなど
興行・施設 1兆2,756億円（11%）、22億円増=0.01%プラス

PC及び携帯電話向けの映像・音楽コンテンツや広告など
オンライン 2兆6,553億円（22%）、5,018億円増=23.3%プラス



(億円)	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年
パッケージソフト	53,785	51,812	50,545	48,889	47,069
放送	35,738	36,629	36,324	36,405	36,938
興行・施設	13,424	12,824	12,973	12,756	12,778
オンライン	15,341	16,566	18,634	21,535	26,553
合計	118,288	117,831	118,476	119,585	123,338